



殿ヶ谷戸庭園マネジメントプラン

令和7年(2025)3月

東京都 建設局

目次

はじめに

はじめに

I 公園の概要……………2

- 1 都市計画の概要
- 2 開園の概要
- 3 主な公園施設
- 4 成り立ち・基本的な性格
- 5 周辺の土地利用・自然環境
- 6 利用概況及び特色
- 7 整備計画等

II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針……………5

- 1 目指す姿及び重点取組
- 2 ゾーン別基本方針

III 図面・写真……………9

- 現況平面図
- 周辺土地利用図(空中写真)
- 周辺土地利用図(地図)
- 占用基準を緩和する区域図
- 園内の写真

IV 資料編……………12

- 公園の沿革
- 利用状況等データ
- 主な催し物
- 主な活動団体
- 関連する行政計画等

公園別マネジメントプランは、都立公園全体の整備・管理運営の指針として、東京が目指す公園づくりの方向性を示すパークマネジメントマスタープランに基づき、公園ごとの性格・役割を踏まえて各都立公園の10年程度の目標や維持管理・運営管理等の取組方針を定めたものです。

改定にあたっては、今後新たな10年間を見据えた公園づくりを目指して、「公園別マネジメントプラン(共通編)」(以下、「共通編」という。)&「公園別マネジメントプラン(個別公園編)」(以下、「個別公園編」という。)の2編構成として取りまとめています。

共通編は、全ての都立公園の質を向上させるために取り組む基本事項を明らかにし、維持管理・運営管理・公園整備の3つの視点から実施すべき取組内容を示すとともに、全ての視点に共通する4つの事項(戦略的広報、協働、リサーチとマーケティング、デジタルトランスフォーメーション)における取組内容を定めています。

個別公園編は、それぞれの公園の特性を生かした多様な公園を創出するため、公園ごとに目指す姿や重点的な取組などを定めています。

共通編と個別公園編を踏まえたマネジメントを推進することにより、都立公園全体の機能や価値を向上させていきます。

共通編は別冊となっておりますので、本冊と合わせてご参照ください。

マスタープランが示す目標の実現に向け、施策を効果的に推進していくため、取組の進捗状況の確認と検証を行いながら、適切な進行管理を行っていきます。また、取組の進捗や社会状況の変化に応じて、取組を弾力的に進めていくことが必要であり、取組の内容や目標を発展的に見直していきます。

I 公園の概要

1 都市計画の概要

名 称	国分寺都市計画公園第3・3・3号殿ヶ谷戸公園
位 置	国分寺市南町二丁目地内
面 積	2.1ha
種 別	近隣公園
決定告示	(当初) 昭和37年6月6日 建設省告示第1272号 (最終) 昭和49年8月3日 東京都告示第818

2 開園の概要

名 称	都立殿ヶ谷戸庭園（とのがやとていえん）
開 園 日	昭和54年4月1日
開園面積	21,123.59 m ² （令和7年2月1日現在）
公園種別	近隣公園
入 園 料	一般150円、65歳以上70円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
所 在 地	国分寺市南町二丁目
アクセス	JR中央線・西武国分寺線・西武多摩湖線「国分寺」

3 主な公園施設

管理事務所、紅葉亭、大芝生、萩のトンネル、藤棚、花木園、竹林、竹の小径、次郎弁天池、湧水の碑、鹿おどし

園内マップ



4 成り立ち・基本的な性格

本庭園は、南満州鉄道副総裁であった江口定條の別邸に端を発し、昭和初期に岩崎彦彌太が改修を加えた東京郊外の別荘庭園である。現在の庭園は、昭和40年代の開発計画に対し本庭園を守る住民運動が発端となり、昭和49年に東京都の所有となって再整備が行われ、昭和54年から本格的に公開されたものである。武蔵野段丘の段丘崖(国分寺崖線)に立地し、その縁辺部の湧水と傾斜面の雑木林など豊かな自然環境を生かした風致景観は優秀であり、芸術上の価値が高い庭園として、平成23年9月に国の名勝指定を受けている。また、急速に市街化が進んだ地域にあって、武蔵野の自然や文化を保全する役割を担う貴重な空間でもある。また、平成16年には、東京都景観条例で「特に景観上重要な都選定歴史的建造物等」に定められている。

本園は、国分寺崖線の南縁にあって、典型的な段丘崖を含んだ地形を巧みに生かして作庭された変化に富んだ回遊式林泉庭園であり、崖下の湧水を巧みに生かし、樹林間には武蔵野の自然を残しながら、崖下のモウソウチク等の鬱蒼とした樹林とアカマツ・カエデ・モッコク等岩崎家によって植栽された崖上の明るい芝庭のコントラストを特徴とする庭園である。また近隣の自然・文化資源と連携する形で、雑木林のみち(国分寺コース)および歴史と文化の散歩道(府中国分寺コース)のコースとしても指定されている。

なお、開放公園区域は国分寺市地域防災計画により防災上の位置付けを持っている。

5 周辺の土地利用・自然環境

(1)周辺の土地利用

- ・公園北に JR 中央本線国分寺駅が隣接し、公園から徒歩 2 分ほどの位置にある。
- ・当庭園の周辺には大小の史跡が多く残っており、国分寺、西国分寺駅を起点にした国分寺史跡巡りコースが設定されている。駅前にはその案内の為の看板が設置されている。

(2)自然環境

- ・当庭園は国分寺市内の東西にのびている国分寺崖線と呼ばれる段丘崖の南の縁に位置し、園内の次郎弁天の池には水量豊かな湧き水がみられる。
- ・武蔵野台地のかつての姿を継承する、シラカシ林や、コナラ林、アカマツ林、刈取り草地などの植生がみられる。

6 利用概況及び特色

年間利用者数は、7 万人になる。(令和 5 年度)

秋の紅葉時期の利用が最も多い。特に高齢者の利用が多い。庭園を回遊し、その途中にある紅葉亭の四阿からの眺めを楽しむような利用が多くみられる。

- ① 次郎弁天池
- ② 南北二ヶ所の湧水を源としており、水面は園内で最も低い位置にある。
- ③ 児童公園

庭園とはフェンスで仕切られる。砂場、木製遊具、時計柱など様々な施設が置かれている。隣接する道路に並行して歩道が設けられる。

7 整備計画等

(1) 東京都における文化財庭園の保存活用計画(殿ヶ谷戸庭園(随宜園)(令和6年3月)

今後の都立庭園全体の保存活用の方策を示した計画である「東京都における文化財庭園の保存活用計画(共通編)」を受けて、殿ヶ谷戸庭園(随宜園)の保存活用計画として策定するものであり、殿ヶ谷戸庭園(随宜園)においてこれまで、保存や修復、復元等に取り組んできた成果を踏まえ、今後の保存、活用・運営、整備についての基本的な方針を示すことを目的としている。

本園の本質的価値

- ① 国分寺崖線の自然を生かした地割と意匠
- ② 国分寺崖線に残された多摩地域の郊外別荘
- ③ 市街化が進むなか、国分寺崖線の典型的な環境・風致景観を良好に残している

Ⅱ 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針

1. 目指す姿及び重点取組

目指す姿

貴重な文化財を後世に引き継ぐため、作庭意図を踏まえた質の高い管理を行うとともに、日本庭園の技術を継承していく。また、伝統文化の体験プログラムや、庭園の魅力・価値を伝える展示の充実を推進していく

この目標を達成するため、本公園では次のことに重点的に取組んで行く。

なお、各取組の具体的内容等については、事業計画等の作成時にそれぞれ設定し、マネジメントサイクルのなかで見直しを行っていく。また、各項目及び施策名はパークマネジメントマスタープランと連動している。

重点取組

(1)文化財庭園の保存・復元と管理の充実

【施策4 歴史と文化をまもる】

- 文化財保護法に基づき、名勝などに指定された文化財庭園を適切に保存するとともに、計画的な修繕を行うなど、その価値や魅力を向上させます。
- 伝統的な庭園管理技能を次世代に引き継ぐとともに、鑑賞空間としての庭園の魅力を向上させるため、庭園の景観を構成する植栽の管理を充実させます。
- 文化財庭園における伝統文化の体験プログラムや、ICT 技術の活用等により庭園の魅力や価値を伝える展示を充実させます。

(2)観光資源としての魅力向上

【施策6 にぎわいをふやす】

- 文化財保護法に基づき名勝に指定された文化財庭園を適切に保存するとともに、計画的な修繕を行うなど、その価値や魅力を向上させます。(再掲)
- 文化財庭園における伝統文化の体験プログラムや、ICT 技術の活用等により庭園の魅力や価値を伝える展示を充実させます。(再掲)

(3)情報発信や案内機能の強化

【施策6 にぎわいをふやす】

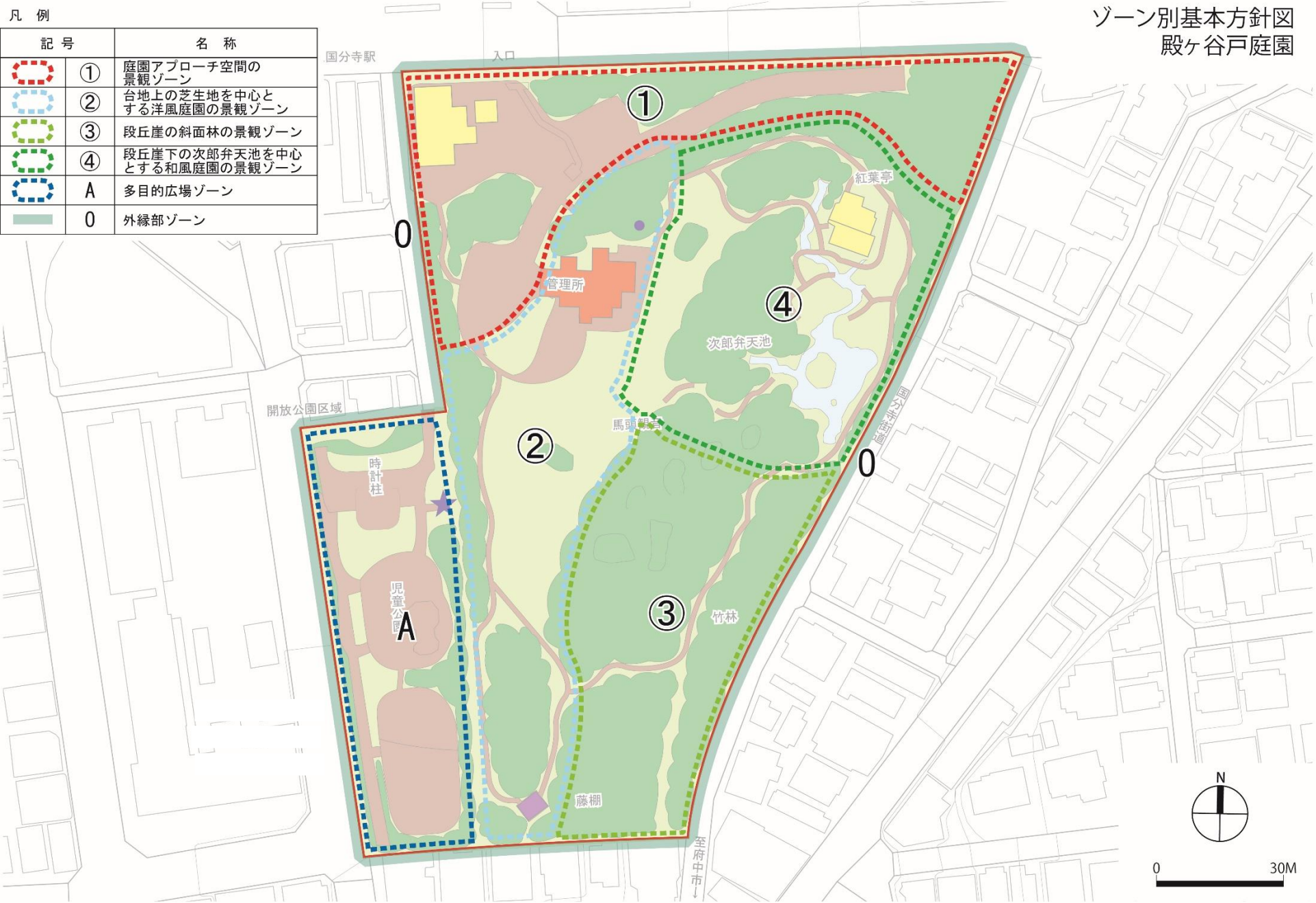
- 都立以外の庭園や文化施設等とも連携し、東京の庭園文化の魅力等を国内外に広く発信します。

2. ゾーン別基本方針

ゾーン別基本方針図
殿ヶ谷戸庭園

凡 例

記 号	名 称
①	庭園アプローチ空間の 景観ゾーン
②	台地上の芝生地を中心と する洋風庭園の景観ゾーン
③	段丘崖の斜面林の景観ゾーン
④	段丘崖下の次郎弁天池を中心 とする和風庭園の景観ゾーン
A	多目的広場ゾーン
0	外縁部ゾーン



この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(6都市基交第884号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

■ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

庭園のもつ特性を正確に把握し、各時代の作庭意図を尊重しつつ、「保存活用計画」に基づき、文化財庭園としての価値と内容を確保する。

- ・崖線地形を利用した、紅葉亭から次郎弁天池の景観は、滝や紅葉時期の眺望を踏まえ、調和のとれたものとなるよう維持管理する。
- ・芝生庭園は、芝生そのものが景観の主要な構成要素であると認識し、アカマツやモッコクの園内主要樹木とともに、美的視点からの維持管理を行う。
- ・早春に開花する林床を彩る野草の維持管理をはじめ、園内の草本の管理には細やかな配慮を行う。
- ・維持管理にあたっては、庭園のもつ静謐な空間を損なうことのないように、作業等について格段の配慮をする。

記号	区分	基本方針
①	庭園アプローチ空間の景観ゾーン	本園の導入部分の景観として、入口から馬車道を通っていた本来の役割を伝えるとともに、倉庫を活用する。
②	台地上の芝生地を中心とする洋風庭園の景観ゾーン	洋風庭園として主屋と大芝生が調和した景観を保存するとともに、一体的に活用することで、本園の価値を伝える場とする。
③	段丘崖の斜面林の景観ゾーン	国分寺崖線の地形及び武蔵野の雑木林としての風致景観を維持し、土壌及び植生を適切に維持・保全する。
④	段丘崖下の次郎弁天池を中心とする和風庭園の景観ゾーン	紅葉亭と池との眺望を維持し、和風庭園を構成する地形・植生・湧水・建物の保全を図る。

記号	区分	基本方針
A	多目的広場 ゾーン	・児童公園のあるゾーン 子供の遊具等の利用のため、安全で快適な利用に対応していく。
O	外縁部 ゾーン	本庭園の外縁部の植栽については、芝生地や池泉の景観等との調和に配慮しつつ、緩衝や遮蔽機能にも対応していく。 ・民有地等や公道に接する公園外縁部 本庭園の外縁部は適切に管理し、民有地等に対して良好な景観の提供を図る。民有地等と直接境界を接する所では景観面のほか、落ち葉や落枝、越流水などにより、直接的な悪影響等を及ぼさないよう適切な維持管理をする。

Ⅲ 図面・写真

【現況平面図】



周辺土地利用図(空中写真)

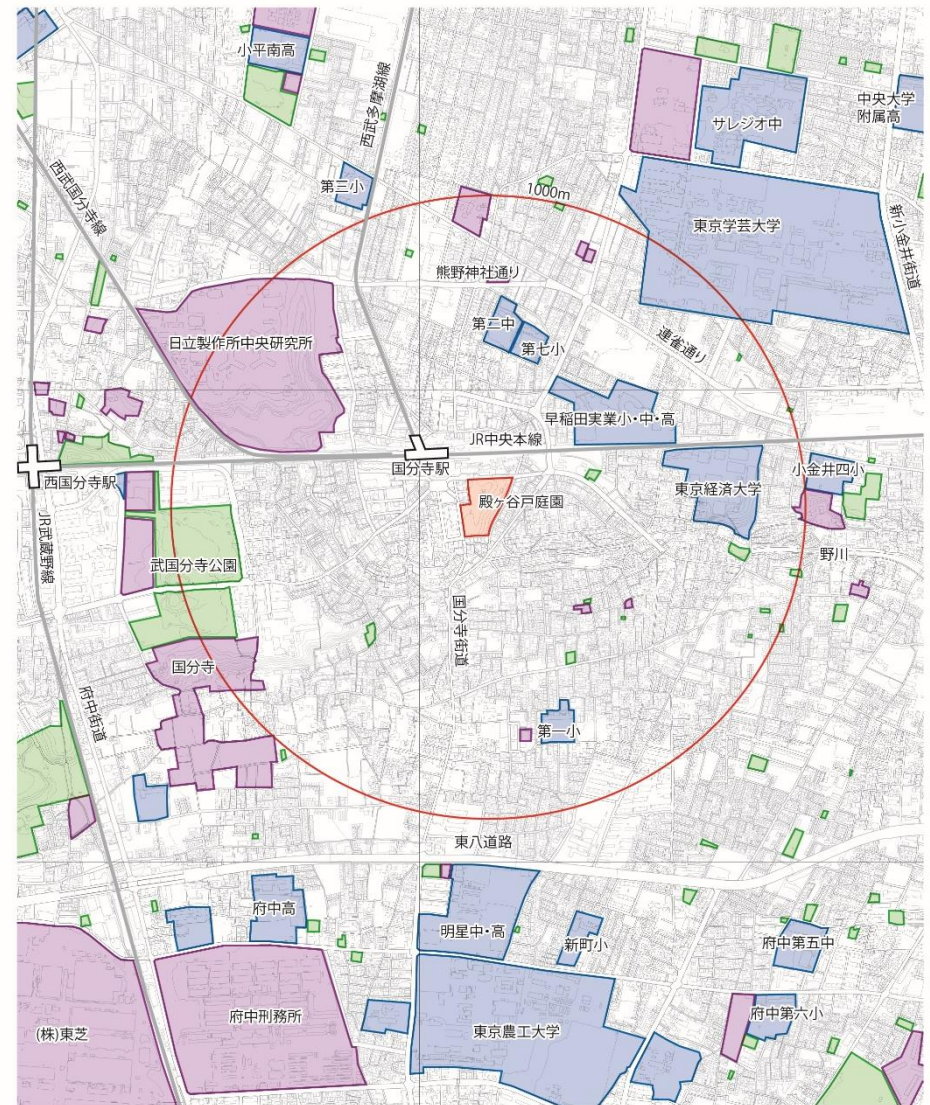
殿ヶ谷庭園



- : 開園区域
- : 都市計画決定区域

周辺土地利用図(地図)

殿ヶ谷庭園



この地図は、国土理院長承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(3都市基交第267号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

- : 公園緑地
- : 学校
- : 特徴的な建物(神社仏閣など)
- : 開園区域
- : 高速道路
- : 鉄道



園内の写真



滝上の紅葉



紅葉



大芝生



竹林の小径

IV 資料編

■庭園の沿革

昭和 37 年 6 月	建設省告示第 1272 号により、都市計画決定 (1.7ha)
昭和 49 年 6～8 月	都市整備用地買収事業により、用地取得
昭和 49 年 8 月	東京都告示第 818 号により、都市計画決定 (2.1ha)
昭和 51 年 6 月	庭園部分は「団体の申し込みに限ったの見学」 として、また、広場部分は「一般開放」として 都民の利用に供している。
昭和 54 年 4 月	東京都告示第 409 号により、開園 (2.1ha)
昭和 57 年 6 月	追加開園。(2.1ha、追加面積：8.58 m ²)
平成 16 年	東京都景観条例で「特に景観上重要な都選定 歴史的建造物等」に定められた。
平成 23 年 9 月	国指定文化財（名勝）に指定

■マネジメントプラン策定履歴

平成 16 年 8 月	パークマネジメントマスタープラン策定
平成 18 年 12 月	殿ヶ谷戸庭園マネジメントプラン策定
平成 22 年 3 月	殿ヶ谷戸庭園マネジメントプラン改定
平成 27 年 3 月	パークマネジメントマスタープラン改定
平成 27 年 5 月	殿ヶ谷戸庭園マネジメントプラン改定
令和 4 年 9 月	殿ヶ谷戸庭園マネジメントプラン改定
令和 6 年 3 月	パークマネジメントマスタープラン改定
令和 7 年 3 月	殿ヶ谷戸庭園マネジメントプラン改定

■利用状況等データ

1)年間利用者数の推移

	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度	元年度
年間総計（人）	70,544	70,919	39,784	50,105	111,662

2)月別利用者数の推移

5 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
年間総数 (人) 70,544	6,771	7,535	4,459	2,754	2,086	3,561
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
	7,641	13,567	9,501	3,590	3,614	5,465

3)有料施設の利用状況

(件)

施設名	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度	元年度
紅葉亭	161	96	37	35	124

■主な催し物(令和5年度実施分)

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数(人)
イベント	1	春から初夏の催し	4月7日～5月21日	11,206
	2	武蔵野を歩く散策ツアー	12月2日	18
	3	七夕飾り	7月1日～7月7日	800
	4	夏から初秋の催し	7月15日～8月20日、10月5日～7日	3,440
	5	「お茶を識(し)る」催し	10月21日	20
	6	庭さんぽ	3月20日	14
	7	伝統技能見学会	5月2日、11月18日	144
	8	秋の催し	11月3日～12月3日	15,886
	9	正月開園・催し	1月2・3日	361
	10	早春の催し	3月16日～24日	2,052
都民協働	1	庭園ガイドボランティア	4月～3月	1,013
	2	庭園管理作業ボランティア	4月～3月	21
自主事業	1	日本文化の体験	10月7日	20
	2	休憩スペースの提供	7月15日～9月18日、11月23日～11月26日	8,538
	3	紅葉めぐりスタンプラリー	10月14日～12月10日	1,373
	4	夏のいい庭(28日)キャンペーン!	7月28日～8月28日	2,248

■主な活動団体(令和5年度調査)

団体名	活動内容	人数(人)
殿ヶ谷戸庭園ガイドボランティアの会	来園者への庭園ガイド活動	19
殿ヶ谷戸庭園花の会	展示室及び紅葉亭の生け花提供と生け替え	3

■関連する行政計画等

- ・「未来の東京」戦略(令和3年3月)
- ・新たな都立公園の整備と管理のあり方について(答申)(令和4年11月)
- ・都市づくりのグランドデザイン(平成29年9月)
- ・東京都福祉のまちづくり推進計画(令和6年3月)
- ・緑確保の総合的な方針(改定)(令和2年7月)
- ・都市計画公園・緑地の整備方針(令和2年7月)
- ・東京都における文化財庭園の保存活用計画(共通編)(平成29年3月)
- ・東京都における文化財庭園の保存活用計画(殿ヶ谷戸庭園(随宜園))(令和6年3月)
- ・国分寺市地域防災計画(令和6年修正)